

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立和歌山高等学校(全日制)
校長氏名	竹内 伸之
作成日	令和7年 2月 3日

1 教育目標

人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成に努める 【目指す生徒像】 ・高校生にふさわしい学力を身に着けた生徒 ・強い身体とたくましい心をもつ生徒	・表現力、人間性が豊かな温かい生徒 ・地域や学校に誇りをもつ生徒
--	-------------------------------------

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・わかる授業、生徒主体の授業を 実践したと思う(生徒・教師90%)	・学校が楽しいと感じる(生徒 90%) ・いじめの解消率(100%)	・朝ごはんを食べた(生徒100%) ・遅刻による指導件数(前年比- 30%)	・学校の様子がよく伝わった(保護 者90%)
重点目標	・基礎・基本の確かな定着 ・自らの進路に向け意欲的に学ぶ 習慣の確立 ・読書活動の推進	・道徳・人権教育の充実をはかり、 人権感覚向上の推進 ・いじめの未然防止、早期発見 ・仲間づくりの実施	・体力向上の推進 ・自らの人生を充実させるための 生活習慣の確立 ・危機回避能力の育成	・家庭・地域との連携充実 ・運営協議会の意見を尊重した学校 づくり ・地域の資源活用の推進
取組の 状況【D】	・模試の計画的受験を勧め、より 客観的な学力レベルの把握に 努めた。 ・外部講師等をうまく活用しながら、 早い段階での進路目標の設定や 学習への意識付けに努めた。 ・土曜講座による補充学習や入 試対策講座・映像講座による 学習指導に努めた。 ・家庭学習の一環として、動画配 信の強化を行った。 ・大学との連携において、大学教 授を招き、定期的に小論文指 導及び自己PR講座を行った。	・登校指導を行い、服装指導・交 通安全マナーの指導に努め た。 ・遅刻指導、SNSの適切な使用 についての指導を実施した。 ・教育相談週間を設定した。 ・ボランティア活動を数回年間計 画に入れることができた。	・「早寝、早起き、朝ごはん」を推 奨した。 ・避難訓練や交通安全教室を行 い、危機回避能力の育成に努 めた。 ・保健室だより等で、感染予防や 歯磨き指導等、健康面での留 意点を定期的に生徒に注意喚 起した。	・生徒の活動状況をマンスリータイ ムとして積極的にホームページ上 にも発信し、情報発信の充実 に努めた。 ・進路指導・生徒指導・人権教育、 総合ビジネス科・デザイン表現 科・普通科の授業等において、 外部講師を積極的に活用し、内 容の充実を図った。 ・高大連携事業を積極活用した。 ・地域や関係者の協力を得ながら 市高デパートを実施した。
取組の 成果と課題 【C】	・公開授業や教員の相互参観授 業は一定の成果がみられる。 ・動画教材を昨年ほど準備するこ とができなかった。 ・補充学習の指導に努めたが、 一部の生徒のみで、全体の効 果を上げるまでには至っていない。 ・進学等進路について各御家庭 と十分な情報共有ができてい ない。	・演芸とトークの鑑賞を活用して の人権学習はとても効果的であ った。 ・積極的なボランティアを始める ことができたが、今後さらに活 発化させていく必要がある。 ・生徒の清掃活動等について、 なかなか活発化できていない。 ・服装についての指導がまだまだ 徹底できていない。 ・SNSの使い方には、まだ問題が 残っている。	・感染予防の取組は一定の成果 を上げた。早めの学級閉鎖等 の取組が効果的であった。 ・朝食の摂取率については生徒 の実態をあまり把握できていな い。 ・避難訓練は以前より少しは実践 的な非難訓練になってきたが、 生徒自身に考えさせるなど更な る工夫が必要と考える。	・生徒の活動状況を学級通信や ホームページで積極的に紹介で きた。 ・教員が近隣小中学校の先生方や 育友会の方々と交流を持つ機会 をなかなか増やせなかった。 ・保護者や地域への発信力が育 っていない。情報量はあるが関 心を持ってもらえていない。 ・市高デパートでの対面販売等 を通して、地域の方々との交流が できた。
改善方法【A】 次年度に向けての	・研究授業の一層の充実に取り 組む。 ・普通科についての映像講座、 土曜講座の内容と方法につい て検討する必要がある。 ・早期の進路決定を促すための ガイダンスや講演アドバイスの さらなる充実を図る。 ・更なるタブレット活用の推進に 取り組む。 ・大学との連携をさらに強化する。	・より積極的なボランティア活動に 取り組んでいく。 ・継続して登校指導、服装指導を 行う。 ・SNSを使う上での留意点等の指 導を継続し、より具体的な指導 とする。 ・生徒の心を揺さぶり、人権意識 を高める視聴覚教材のさらなる 発掘を行う。	・生徒自身に考えさせるなどより 実践的な避難訓練を実施する。 ・保健だより等を活用し、感染予 防や病気対策を充実させ、健 全な体づくりに努める。	・学校運営協議会での議論を踏ま え、学識経験者や地域住民、保 護者の力を借りた学校づくりに努 める。 ・生徒活動や市高デパートを通し た地域への貢献の方法について 改善と研究をすすめていく。 ・スマートフォンで見やすい学校 ホームページの開発を進める。 ・市高デパートの開催形態につい て検討を進める。

3 その他の課題

・校務分掌等の教職員組織をより効率的なものになるよう改善を図り、各教職員が学校運営に積極的に関わる意識の更なる醸成を図る。 ・校務支援システムの積極的活用により、校務の効率化を図る。
--